

## 総合戦略に掲げた数値目標及び重要業績評価指標（KPI）の検証について

## 国の評価方法に準じて以下のとおり評価

## ① 目標達成に向けて進捗している

- A 数値目標を定めており、現時点で目標を達成している（上方修正前の目標を達成している場合も含む）
- B 数値目標を定めており、現時点で目標を達成していない

## ② 現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない

## ③ 現時点において統計上実績値の把握が不可能なもの

## 〔数値目標の達成状況〕

基本目標	項目数	①			②	③
		計	A	B		
1 しごとづくり	6項目	<b>4項目 (66.7%)</b>	2項目 (33.3%)	2項目 (33.3%)	<b>2項目 (33.3%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>
2 魅力づくり	3項目	<b>2項目 (66.7%)</b>	0項目 (0%)	2項目 (66.7%)	<b>1項目 (33.3%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>
3 人の流れづくり	2項目	<b>1項目 (50.0%)</b>	1項目 (50.0%)	0項目 (0%)	<b>1項目 (50.0%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>
4 結婚・出産・子育て環境づくり	3項目	<b>3項目 (100.0%)</b>	2項目 (66.7%)	1項目 (33.3%)	<b>0項目 (0%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>
5 暮らしの安心を支える環境づくり	2項目	<b>2項目 (100.0%)</b>	1項目 (50.0%)	1項目 (50.0%)	<b>0項目 (0%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>
6 活力ある地域づくり	3項目	<b>2項目 (66.7%)</b>	0項目 (0%)	2項目 (66.7%)	<b>1項目 (33.3%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>
計	19項目	<b>14項目 (73.7%)</b>	6項目 (31.6%)	8項目 (42.1%)	<b>5項目 (26.3%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>

## 〔重要業績評価指標（KPI）の達成状況〕

基本目標	項目数	①			②	③
		計	A	B		
1 しごとづくり	37項目	<b>33項目 (89.2%)</b>	18項目 (48.6%)	15項目 (40.5%)	<b>4項目 (10.8%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>
2 魅力づくり	14項目	<b>7項目 (50.0%)</b>	2項目 (14.3%)	5項目 (35.7%)	<b>6項目 (42.9%)</b>	<b>1項目 (7.1%)</b>
3 人の流れづくり	13項目	<b>10項目 (76.9%)</b>	8項目 (61.5%)	2項目 (15.4%)	<b>3項目 (23.1%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>
4 結婚・出産・子育て環境づくり	26項目	<b>22項目 (84.6%)</b>	16項目 (61.5%)	6項目 (23.1%)	<b>4項目 (15.4%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>
5 暮らしの安心を支える環境づくり	11項目	<b>11項目 (100.0%)</b>	3項目 (27.3%)	8項目 (72.7%)	<b>0項目 (0%)</b>	<b>0項目 (0%)</b>
6 活力ある地域づくり	28項目	<b>26項目 (92.8%)</b>	17項目 (60.7%)	9項目 (32.1%)	<b>1項目 (3.6%)</b>	<b>1項目 (3.6%)</b>
計	129項目	<b>109項目 (84.5%)</b>	64項目 (49.6%)	45項目 (34.9%)	<b>18項目 (14.0%)</b>	<b>2項目 (1.6%)</b>

本県最大の強みであるモノづくり産業の高度化・高付加価値化を図るとともに、全国有数の産出額を誇る農林水産業の競争力を高めることなどにより、日本の「産業首都」としての中枢性をさらに高め、質の高い「しごと」を創出する。

### 〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2018年（度））	目標値（2020年（度））
県内総生産の全国シェア	7.0%（2003～2012年度の平均） 7.3%（2012年度）	7.3%（2016年度）	7.5%
製造品出荷額等の全国シェア	13.6%（2004～2013年の平均） 14.4%（2013年）	14.7%（2017年）	14.5%
輸出額の全国シェア	18.7%（2005～2014年の平均） 20.1%（2014年）	20.1%	21.0%
農林水産業（第一次産業）県内総生産の全国シェア	3.2%（2003～2012年度の平均） 3.1%（2012年度）	3.1%（2015年度）	3.5%
就業者数	383万人（2005～2014年の平均） 391万人（2014年）	408万人	年390万人程度を維持
1人当たり県民所得	国を19%上回る（2003～2012年度の平均） 国を25%上回る（2012年度）	国を17.8%上回る （2016年度）	全国平均を 25%上回る

### 〔重要業績評価指標（KPI）の達成状況〕

達成状況	項目数
<b>①目標達成に向けて進捗している</b>	<b>33項目（89.2%）</b>
A：数値目標を定めており、現時点で目標を達成している	18項目（48.6%）
B：数値目標を定めており、現時点で目標を達成していない	15項目（40.5%）
<b>②現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない</b>	<b>4項目（10.8%）</b>
<b>③現時点において統計上実績値の把握が不可能なもの</b>	<b>0項目（0%）</b>

#### 〔コメント〕

- 数値目標については、好調な経済環境の中で、大多数が目標に向けて進捗している。特に、就業者数については、生産年齢人口が減少していく中で、390万人程度を維持するという目標を設定したが、戦略策定後に増加している。「1人当たり県民所得」については、県民所得は増加しているものの、伸び率が全国平均を下回っている（1人当たり県民所得：3,437千円（2012年）⇒3,632千円（2016年））。
- KPIについては、大多数が目標達成に向けて進捗しており、一部のKPIについては、期間中に目標値を達成したため、目標値の上方修正を行っている。

“Heart” of JAPAN をキーワードに、強みである Technology（技術）と Tradition（伝統）を生かして、本県の魅力を国内外に発信し、多くの人を訪れ、滞在してもらえる地域をつくる。

### 〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2018年（度））	目標値（2020年（度））
来県者数	3,551 万人（2012～2014 年の平均） 3,817 万人（2014 年）	3,982 万人 （2017 年）	5,000 万人
観光消費額	6,263 億円（2012～2014 年の平均） 7,270 億円（2014 年）	7,237 億円 （2017 年）	1 兆円
愛知県を訪れる観光客の満足度	82.9%（2012～2014 年の平均） 80.1%（2014 年度）	83.0% （2017 年）	90%

### 〔重要業績評価指標（KPI）の達成状況〕

達成状況	項目数
<b>①目標達成に向けて進捗している</b>	<b>7項目（50.0%）</b>
A：数値目標を定めており、現時点で目標を達成している	2項目（14.3%）
B：数値目標を定めており、現時点で目標を達成していない	5項目（35.7%）
<b>②現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない</b>	<b>6項目（42.9%）</b>
<b>③現時点において統計上実績値の把握が不可能なもの</b>	<b>1項目（7.1%）</b>

### 〔コメント〕

- 数値目標については、来県者数は増加しているものの、いわゆる「爆買い」の沈静化により、客単価が下落したことから、観光消費額は低下している（2014年：7,270億円⇒2017年：7,237億円）。
- KPIについては、目標達成に向けて進捗している項目が全体の5割となっており、他の基本目標と比べると割合が低くなっている。この理由としては、KPIに数値目標と同じ観光消費額を設定していたことのほか、愛知芸術文化センターの大規模改修工事により、大ホール・コンサートホール・美術館が休館しており、入場者数が減少したことなどが挙げられる。

次世代の成長分野など魅力ある企業の集積や、大学の活性化を図ることなどにより、若年者を中心とした東京圏への人口流出の流れに歯止めをかけるとともに、国内外から愛知に人を呼び込む流れをつくる。

#### 〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2018年（度））	目標値（2020年（度））
県外との転出入者数	12,603人 (1990～2010年の平均)	78,225人 (2018年18,017人)	5年間で 65,000人の転入超
労働力人口の全国シェア	6.0% (2005～2014年の平均) 6.1% (2014年)	6.1%	6.2%

#### 〔重要業績評価指標（KPI）の達成状況〕

達成状況	項目数
①目標達成に向けて進捗している	10項目（76.9%）
A：数値目標を定めており、現時点で目標を達成している	8項目（61.5%）
B：数値目標を定めており、現時点で目標を達成していない	2項目（15.4%）
②現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない	3項目（23.1%）
③現時点において統計上実績値の把握が不可能なもの	0項目（0%）

#### 〔コメント〕

- 数値目標について、県外からの転入超過数を5か年で6万5千人としていたが、2018年までの4か年で、78,225人となり、目標を大きく上回る結果となっている。また、労働力人口の全国シェアは、横ばい傾向となっている。
- KPIについては、全体の7割強が達成に向けて進捗している。特に、「次世代成長産業等の企業立地件数」は、5か年で40件の立地を見込んでいたが、2018年度時点で59件と目標を大きく上回っている。一方で、「県内企業と県内学生とのマッチング数」については、策定時に年間6千人という目標を設定したが、景気の回復基調に伴い、有効求人倍率が高水準で推移したことから、県が実施する合同企業説明会の参加者数が減少したため、策定時より減少している（策定時：2014年度：5,608人⇒2018年度：3,606人）。

若い世代の経済的安定を図り、地域社会全体での子育てを支援する環境を整備していくことなどにより、結婚の意思を持つ若者の希望をかなえていくとともに、夫婦が希望する時期に安心して出産・子育てができるような環境をつくる。

#### 〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略策定時 (2014年(度))	現状値 (2018年(度))	目標値 (2020年(度))
合計特殊出生率	1.46	1.54 (概数)	1.8 (2030年)
若者 (25～44歳) の完全失業者数	64,000人 (2005～2014年の平均) 51,000人 (2014年)	25,000人	50,000人以下
女性 (25～44歳) の労働力率	67.4% (2005～2014年の平均) 70.1% (2014年)	74.7%	73.1%以上

#### 〔主な施策の実施状況と重要業績評価指標 (KPI) の達成状況〕

達成状況	項目数
①目標達成に向けて進捗している	22項目 (84.6%)
A：数値目標を定めており、現時点で目標を達成している	16項目 (61.5%)
B：数値目標を定めており、現時点で目標を達成していない	6項目 (23.1%)
②現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない	4項目 (15.4%)
③現時点において統計上実績値の把握が不可能なもの	0項目 (0%)

#### 〔コメント〕

- 数値目標について、合計特殊出生率は策定時より上昇しているものの、近年では横ばい傾向にある (2015年：1.57⇒2016年：1.56⇒2017年1.54⇒2018年：1.54)。若者の完全失業者数は景気の回復基調に伴い、目標の50,000人以下の2分の1となっている。また、女性 (25～44歳) の労働力率も上昇傾向にあり、2018年時点で目標を上回っている。
- KPIについては、全体の8割強が達成に向けて進捗している。特に「女性の活躍促進宣言企業数 (累計)」は、策定時166社 (2014年) を1,000社まで増加させることを目標としていたが、2017年時点で目標を上回った (2017年：1,295社) ため、目標値を2,000社に上方修正した。一方で、「20代女性の首都圏への転出超過数 (年間)」は、戦略策定時の1,528人を下回る1,400人を目標としていたが、2018年時点で2,528人と増加傾向にある。

本格的な長寿社会を迎える中、高齢者がそれぞれの地域で健康で安心して暮らせる環境をつくとともに、年齢や男女、障害の有無や国籍に関わらず、誰もが社会の支え手として活躍できる社会をつくる。

#### 〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2018年（度））	目標値（2020年（度））
健康寿命	男 71.74 年〔全国 1 位〕 女 74.93 年〔全国 3 位〕 (2010 年)	男性 73.06 年〔全国 3 位〕 女性 76.32 年〔全国 1 位〕 (2016 年)	男 75 年以上〔全国 1 位〕 女 80 年以上〔全国 1 位〕 (2022 年)
労働力率	62.7% 1994 年：67.5% ⇒2004 年：64.0% ⇒2014 年：62.7%	63.6%	62.0%

#### 〔主な施策の実施状況と重要業績評価指標（KPI）の達成状況〕

達成状況	項目数
①目標達成に向けて進捗している	11 項目（100.0%）
A：数値目標を定めており、現時点で目標を達成している	3 項目（27.3%）
B：数値目標を定めており、現時点で目標を達成していない	8 項目（72.7%）
②現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない	0 項目（0%）
③現時点において統計上実績値の把握が不可能なもの	0 項目（0%）

#### 〔コメント〕

- 数値目標について、健康寿命は男女ともに上昇しているものの、男女ともに全国 1 位という目標の達成には至っていない。労働力率については、高齢化に伴う低下傾向の中で、現状水準（62.0%）を維持という目標に対して、女性・高齢者の労働参加が促進されたこともあり、戦略策定後は上昇している。
- KPI については、すべての KPI が目標達成に向けて進捗している。特に「学生消防団員数（累計）」は、策定時 274 人（2014 年）を 330 人まで増加させることを目標としていたが、2016 年時点で目標を上回った（2016.4 時点：379 人）ため、目標値を 680 人に上方修正した。

地域資源を生かした個性や魅力にあふれる地域をつくとともに、県内主要都市の機能集積や周辺地域との連携を図ることなどにより、各地域が活力を維持し、県内のバランスある発展を実現する。

### 〔数値目標の達成状況〕

目標項目	総合戦略策定時（2014年（度））	現状値（2018年（度））	目標値（2020年（度））
1人当たり県民所得	国を19%上回る (2003～2012年度の平均) 国を25%上回る (2012年度)	国を17.8%上回る (2016年度)	全国平均を25%上回る
三河山間地域、離島及び周辺地域の観光客数	【三河山間地域】 620万人（2013年） 【離島及び周辺地域】 1,277万人（2013年）	【三河山間地域】 670万人（2017年） 【離島及び周辺地域】 1,236万人（2017年）	【三河山間地域】 年間650万人 【離島及び周辺地域】 年間1,341万人
三河の山里サポートデスク等を通じた移住者数	154人（2014年）	628人 (2017年度220人)	5年間で800人

### 〔主な施策の実施状況と重要業績評価指標（KPI）の達成状況〕

達成状況	項目数
①目標達成に向けて進捗している	26項目（92.8%）
A：数値目標を定めており、現時点で目標を達成している	17項目（60.7%）
B：数値目標を定めており、現時点で目標を達成していない	9項目（32.1%）
②現時点では、目標達成に向けた政策効果が必ずしも十分に発現していない	1項目（3.6%）
③現時点において統計上実績値の把握が不可能なもの	1項目（3.6%）

#### 〔コメント〕

- 数値目標について、「三河の山里サポートデスク等を通じた移住者数」は、年平均160人（5か年で800人）という目標を上回るペースで推移している。「1人当たり県民所得」については、県民所得は増加しているものの、伸び率が全国平均を下回っている（1人当たり県民所得：3,437千円（2012年）⇒3,632千円（2016年））。なお、「三河山間地域、離島及び周辺地域の観光客数」については、新東名高速道路の開通効果もあり、三河山間地域の観光客数は増加しているものの、離島及び周辺地域の観光客数については減少している。
- KPIについては、ほぼすべてのKPIが目標達成に向けて進捗している。特に「東三河地域企業のインターンシップ受入可能企業数（年間）」は、策定時37社（2014年）を45社まで増加させることを目標としていたが、2016年時点で目標を上回った（2015年度時点：85社）ため、目標値を90社に上方修正した。